

# 三越伊勢丹班

安達宇宙 木村賢太郎 原宏史 野海拙 佐藤歩未

## 1. 準備に関する反省と感想

私たちは百貨店業界の中でも特に知名度のある三越・伊勢丹を調べました。夏前から役割分担をし、合宿ではとまどいながらも今後の役割分担なども考え5人で協力して進めていきました。百貨店業界の動きは、常時チェックしておかないとすぐに動きが出てしまうので、チームひとりひとりがたくさんの資料から重要な情報を取り入れられるように努力しました。反省点としては、みんなが集めてきた資料からプレゼンテーションのレジュメ作りをする時間を、もう少し多くとってればもっと良いものになったと思ひ悔いが残りました。

## 2. 報告内容とそれに対する質疑の概要

私たちは主に三越・伊勢丹の統合前と統合後の営業成績や国内・海外でのシェア、今後の拠点拡大などを報告しました。三越・伊勢丹は統合後、高島屋に比べ店舗数を徐々に拡大していき統合前には営業成績で負けていたのですが、統合後には高島屋を抜き百貨店業界でトップに立つことに成功しました。このように私たちは三越・伊勢丹ホールディングスの経営戦略について調査し報告をしたのですが、相手チームは主に百貨店業界全体を調査しつつ高島屋に焦点を当て報告をしたので、内容の食い違いが出てしまいました。

その結果、質疑応答もうまく噛み合いませんでしたが、テーマに合った質問として相手チームから「拠点拡大をしていくのに対し池袋店など都心部の閉店はなぜか？」という質問がされました。これに対する返答は、三越伊勢丹の経営戦略は営業成績の伸びない店舗よりも、将来性のある地方店や海外への進出に力を入れているからだと説明しました。

## 3. 合同ゼミに対する感想と反省

当日はトップバッターということもあり、どのように進めていけばいいかわからず、相手チームとの内容の食い違いなどがすこしあり、はじめは困惑していましたが、無事に自分たちのプレゼンテーションを終えることができました。質疑応答の時もひとりひとりが質問も返答も真剣に考え、みんなが一体となって進めていけたと思います。

今回この合同ゼミを通じて企業のことについて調べたことは就職活動など、私たちの今後の生活に役立てることのできる、非常に良い経験になったと実感しました。

(文責 木村賢太郎)